



藤代高校を中国の高校生が訪問しました

11月14日（月）に藤代高校を中国江西省の二校から高校生28名が訪問しました。

9時過ぎに本校に到着するとすぐにお世話役のバディ生徒と対面し、たちまち仲良くなりました。2時間目は体育館で歓迎セレモニーが行われ1、2年生の生徒と本校吹奏楽部の歓迎演奏や中国の2校それぞれによるパフォーマンスを楽しみました。3時間目と4時間目は1年生の3クラス毎に分かれてグループディスカッションを行いました。各クラス4～5人のグループに一人ずつ中国の生徒に入ってもらい、将来の夢や今それぞれのはやっているものなどについて熱心に話し合いました。昼休みは各教室でバディ生徒達と一緒に弁当を食べ、すっかり仲良しに。5時間目はそのままバディのクラスで授業を受けたり、茶道部と茶道体験をしたりしました。6時間目は被服室でバディ生徒と一緒に縮緬の布でがま口財布作りを体験し、いいおみやげになりました。

その後はお別れセレモニーで記念品を交換し、本校からは甲子園応援にも使った野球帽などをプレゼントして喜んでいただけました。最後に部活動の様子を見学してからバディ生徒といつまでも別れを惜しみながら帰っていきました。

中国の生徒達は9日間の滞在でいろいろな見学等でしたが、本校での交流が最も感動的な出来事だったそうです。

日中両方の生徒達にとって忘れられない一生の思い出になりました。

☆歓迎セレモニー☆



国際教育委員の先導で入場



壇上の中国高校生訪問団



中国側校長先生挨拶



吹奏楽部歓迎演奏での挨拶



民族衣装での中国側パフォーマンス



歌と踊りの中国側パフォーマンス

☆グループディスカッション☆





☆茶道体験☆





引率の先生方も一緒に
☆縮緬がま口財布作り☆





☆お別れセレモニー☆



本校生徒代表挨拶



中国側代表生徒挨拶



☆本校バディ生徒のアンケートより☆

- ・ お互い慣れない英語で一生懸命伝え合ったのがすてきだと思った。
- ・ 思っていたよりもはるかに礼儀正しく、逆にこちらが見習わなくてははいけないと思った。
- ・ 連絡先を交換して今もメールでやりとりできている！
- ・ 楽しかった。中国語ならいたいです！ふれあう時間短かった。
- ・ もっと長く できればホームステイまでしてほしいくらい楽しくて短い一日だった。
- ・ みんな優しくておだやかで大好きになった。
- ・ みんな親切だったしフレンドリーでニュースで取り上げられている中国だけの印象だったのでその印象がなくなった。中国人が好きになった。
- ・ 最後にお別れするのがイヤになった。たぶんそれはなごりおしくて、さみしいからだと思う。それだけ1日で好きになることができた。

ニュースで知る中国は私には悪い印象だった。でも、今回のこの経験によって、中国人は良い人なのだと思った。ニュースがすべてじゃないってことも改めてわかったから、本当に良い経験になって良かった。さらに英語で会話するのが楽しみになっていた。